



2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月10日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
 コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 忠則 TEL 084-960-1247
 四半期報告書提出予定日 2021年9月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	7,140	41.8	1,033	295.8	990	261.3	738	198.4
2021年1月期第2四半期	5,034	9.6	261	206.5	274	3,526.3	247	—

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 936百万円 (416.8%) 2021年1月期第2四半期 181百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	90.64	—
2021年1月期第2四半期	30.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	13,418	4,528	33.7
2021年1月期	12,388	3,672	29.6

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 4,528百万円 2021年1月期 3,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年1月期	—	0.00			
2022年1月期（予想）			—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,802	19.1	1,556	44.3	1,484	38.8	1,212	66.8	148.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2021年9月10日）公表いたしました「2022年1月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は（添付資料）9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期2Q	8,176,452株	2021年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	23,421株	2021年1月期	23,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期2Q	8,153,031株	2021年1月期2Q	8,153,131株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の終息が未だ見通せない中、依然として厳しい状況が継続しました。今後ワクチン接種の普及等により国内経済は持ち直していくことが期待されますが、感染の再拡大により7月には4回目の緊急事態宣言が発出されるなど、先行きにつきましても極めて不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症は、国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞など、引き続き事業活動へ影響を及ぼすものの、次世代通信規格「5G」市場並びに半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大しており同分野での設備投資が増加したことや中国経済の拡大により、前年同期と比較して業績の回復が見られました。一方で、需要が急増している半導体や電子部品など電子デバイスの供給不足による影響には引き続き注意する必要があります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は71億40百万円（前年同期比41.8%増）となり、営業利益は10億33百万円（前年同期比295.8%増）、経常利益は9億90百万円（前年同期比261.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億38百万円（前年同期比198.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、次世代通信規格「5G」市場並びに半導体向けのパッケージ基板の需要拡大に伴い同分野での設備投資が増加したことなどから、前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

液晶関連分野におきましても、液晶パネル需要の増加に伴いパネルの生産が高水準で推移し生産消耗品の販売が増加したことなどから前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は26億88百万円（前年同期比59.9%増）、営業利益は6億32百万円（前年同期比245.2%増）となりました。

(ディスプレイおよび電子部品)

自動車向け印刷製品は、前年からスタートいたしました新規顧客向けの生産が順調に推移し、前年同期と比較し売上高が増加いたしました。工作機械および産業用機械分野については、新型コロナウイルス感染症の再拡大により営業活動の制約が続く中、顧客の長納期化を見越した先行発注等もあり受注高は増加しておりますが、電子部品の供給不足の影響から受注から出荷までのリードタイムが伸びており売上高は前年同期と比較し減少いたしました。

連結子会社であるJPN, INC. は、フィリピン国内において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中でも引き続き通常の生産体制を維持し顧客の需要増加に対応した結果、前年同期に比べ増収増益となりました。上海賽路客電子有限公司についても、次世代通信規格「5G」、電気自動車（EV）、産業機械、家電製品などを中心に中国経済の回復傾向が続く中、電子部品実装の需要も増加しており前年同期に比べ増収増益となりました。

その結果、売上高は44億47百万円（前年同期比32.8%増）、営業利益は4億1百万円（前年同期比408.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ10億30百万円増加の134億18百万円となりました。

流動資産は、80億31百万円となり前連結会計年度末と比べ9億86百万円増加いたしました。これは現金及び預金が4億58百万円、受取手形及び売掛金が5億88百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、53億87百万円となり前連結会計年度末と比べ44百万円増加いたしました。これは無形固定資産が35百万円減少しましたが、有形固定資産が67百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億75百万円増加の88億90百万円となりました。

流動負債は、75億11百万円となり前連結会計年度末と比べ25億4百万円増加いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金が21億67百万円、支払手形及び買掛金が2億20百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、13億78百万円となり前連結会計年度末と比べ23億29百万円減少いたしました。これは長期借入金が23億67百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、45億28百万円となり前連結会計年度末と比べ8億55百万円増加いたしました。これは剰余金の配当を81百万円実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を7億38百万円計上し、利益剰余金が6億57百万円増加したこと、為替換算調整勘定が1億97百万円増加したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は33.7%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億50百万円増加し、27億96百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億75百万円（前年同期比30.1%減少）となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益9億94百万円、減価償却費2億50百万円、仕入債務の増加額1億70百万円であり、主な減少要因は売上債権の増加額5億20百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億30百万円（前年同期比16.3%減少）となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出2億23百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億96百万円（前年同期比72.8%増加）となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出2億円、配当金の支払額81百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、2021年3月19日発表時の予想を変更しております。詳細は、本日公表しました「2022年1月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,502,368	2,961,355
受取手形及び売掛金	2,464,848	3,053,230
商品及び製品	204,599	227,641
仕掛品	1,112,828	810,111
原材料及び貯蔵品	635,344	814,944
その他	127,067	164,539
貸倒引当金	△1,905	△207
流動資産合計	7,045,151	8,031,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,215,412	1,221,205
土地	2,107,859	2,107,859
その他(純額)	1,321,101	1,382,538
有形固定資産合計	4,644,373	4,711,604
無形固定資産		
その他	381,428	346,143
無形固定資産合計	381,428	346,143
投資その他の資産		
その他	378,084	395,126
貸倒引当金	△60,737	△65,590
投資その他の資産合計	317,346	329,535
固定資産合計	5,343,148	5,387,283
資産合計	12,388,300	13,418,898
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579,946	1,800,453
短期借入金	1,680,344	1,705,550
1年内返済予定の長期借入金	400,000	2,567,000
未払法人税等	100,666	253,809
前受金	411,322	308,553
賞与引当金	27,059	21,593
その他	807,700	854,658
流動負債合計	5,007,039	7,511,617
固定負債		
長期借入金	2,367,000	—
退職給付に係る負債	524,456	543,947
その他	816,881	834,959
固定負債合計	3,708,337	1,378,907
負債合計	8,715,377	8,890,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,107,799	1,107,799
利益剰余金	2,675,602	3,333,043
自己株式	△20,120	△20,120
株主資本合計	4,063,281	4,720,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,973	△8,994
為替換算調整勘定	△377,681	△180,498
退職給付に係る調整累計額	△2,704	△2,855
その他の包括利益累計額合計	△390,359	△192,348
純資産合計	3,672,922	4,528,373
負債純資産合計	12,388,300	13,418,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	5,034,585	7,140,651
売上原価	3,818,415	5,037,655
売上総利益	1,216,170	2,102,996
販売費及び一般管理費	955,016	1,069,301
営業利益	261,153	1,033,694
営業外収益		
受取利息	5,213	3,521
受取配当金	331	404
為替差益	6,901	—
受取賃貸料	10,007	14,135
助成金収入	42,302	8,809
その他	5,676	2,406
営業外収益合計	70,432	29,277
営業外費用		
支払利息	28,132	28,271
為替差損	—	18,533
減価償却費	15,581	14,393
その他	13,612	10,952
営業外費用合計	57,326	72,150
経常利益	274,259	990,821
特別利益		
固定資産売却益	2,787	6,657
特別利益合計	2,787	6,657
特別損失		
固定資産売却損	318	—
固定資産除却損	31	2,664
特別損失合計	349	2,664
税金等調整前四半期純利益	276,698	994,814
法人税等	29,065	255,843
四半期純利益	247,632	738,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,632	738,971

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	247,632	738,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△965	978
為替換算調整勘定	△58,218	197,183
退職給付に係る調整額	△7,148	△151
その他の包括利益合計	△66,331	198,010
四半期包括利益	181,300	936,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,300	936,981
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	276,698	994,814
減価償却費	217,974	250,004
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△347	3,155
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,723	△7,285
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,595	11,867
受取利息及び受取配当金	△5,544	△3,926
助成金収入	△42,302	△8,809
支払利息	28,132	28,271
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,469	△6,657
有形固定資産除却損	31	2,664
売上債権の増減額 (△は増加)	382,052	△520,209
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34,161	146,321
仕入債務の増減額 (△は減少)	△404,788	170,424
未払金の増減額 (△は減少)	△45,512	△31,039
前受金の増減額 (△は減少)	723,724	△102,769
その他	121,298	48,220
小計	1,273,789	975,046
利息及び配当金の受取額	5,544	3,926
利息の支払額	△28,215	△28,748
法人税等の支払額	△41,319	△83,695
助成金の受取額	42,302	8,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,252,101	875,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△202,586	△223,588
有形固定資産の売却による収入	26,136	9,952
無形固定資産の取得による支出	△138,202	△19,600
投資有価証券の取得による支出	△1,198	△1,199
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	81	249
定期預金の預入による支出	△57,035	—
定期預金の払戻による収入	107,530	—
その他	△8,827	4,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△275,103	△230,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,532	20,112
長期借入金の返済による支出	△222,000	△200,000
リース債務の返済による支出	△1,567	△35,081
配当金の支払額	△81,532	△81,530
セール・アンド・リースバックによる収入	135,119	—
自己株式の取得による支出	△79	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,592	△296,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27,765	101,491
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	777,641	450,182
現金及び現金同等物の期首残高	1,411,162	2,346,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,188,804	2,796,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞、客先における設備投資延期など、事業活動に影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の終息時期については、概ね2022年1月期中を想定しており、2023年1月期には経済状況は改善に向かうと仮定し、会計上の見積り（固定資産の減損等）を行っております。

なお、前連結会計年度の決算短信に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などによる仮定および会計上の見積りについて、重要な変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響については不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,681,240	3,348,578	5,029,818	4,767	5,034,585	—	5,034,585
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,681,240	3,348,578	5,029,818	4,767	5,034,585	—	5,034,585
セグメント利益又は損失 (△)	183,232	78,802	262,034	△880	261,153	—	261,153

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,688,850	4,447,231	7,136,082	4,569	7,140,651	—	7,140,651
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,688,850	4,447,231	7,136,082	4,569	7,140,651	—	7,140,651
セグメント利益	632,514	401,034	1,033,548	146	1,033,694	—	1,033,694

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。